# OB現役交流会

19:00~21:00









流会が開催されました。当日は終始和やかな 雰囲気の中、普段では交流の機会が少ない特 別会員の皆様と現役会員が交流をすること ができ、大変有意義な機会となりました。現 役会員にとっては、多くの学びや気付きを得 ることのできた、貴重な時間になったと思い ます。

4月24日(水)にOB会主催によるOB現役交

また、岡本会員拡大特別委員長より、会員 拡大の現状を報告させて頂き、特別会員の皆 様への会員拡大のご協力のお願いをさせて いただきました。

最後に、木和田OB会長をはじめとする特 別会員の皆様には計画から開催までしてい ただき、心より感謝申し上げます。ありがと うございました。

(専務理事 若宮 顕仁)

# 理事長セクレタリーとして



理事長セクレタリーを拝命し、大変光栄に思っております。髙岡理事長が円滑に公務を遂 行できますよう、セクレタリーとしての役割をしっかりと果たしたいと思います。また、昨 年より髙岡理事長に随行させていただき、様々な公的な場でご活躍されるお姿を拝見する 中で、大変多くの学びと気づきを得る機会をお与えいただけたと感じております。自身の役 割をしっかりと果たし、その上で、この好機をしっかりと捉えて、自身の成長にも繋げたい と考えております。不慣れな部分や、至らぬ点も多々あろうかと思いますが、何卒よろしく お願い申し上げます。

(理事長セクレタリー 小森 弘詞)

### 事業案内

#### ▶会員開発講座~勇猛邁進~

6月9日(日) 18:00~21:00

じばさんTAJIMA 4F 経営研修室

#### ▶6月第1例会

日時 6月14日(金) 18:30~21:30

じばさんTAIIMA 2F 第1交流センター

地域の可能性 講演

川上 晃弘 氏

但馬信用金庫 事業支援部 次長 兼 地域創生課長 中小企業診断士

▶豊岡×SDGs~未来のために今できること~

6月22日(土) 12:30~16:00

じばさんTAJIMA 2F 多目的ホール他

## 編集後記

平成が終わり令和を迎えました。元号が変わる瞬間に 私は仲間とこの文章を書いています。何かが変わる瞬間 や始まる瞬間に、自分も何か変わらなければいけない、何 か始めなければいけないと少なからず思うのではないで しょうか。

4月例会では、組織としての在り方を学び考えました。 その中でも、相手の事を思い、相手の気持ちに寄り添う事 の意味と価値を考える機会がありました。組織や相手に 対して思い、寄り添い、より良い変化をもたらすために自 分は何ができるか考え率先して行動する事が大事ではな いでしょうか。志を同じくする者が相集い切磋琢磨し力 を合わせる組織であり続けるために。

(総務委員会)

般社団法人豊岡青年会議所

公式WEBサイト





2019年度理事長スローガン

JCI Junior Chamber International Toyooka

一般社団法人豊岡青年会議所

2019年5月発行号

### (今月号の内容)

·4月第1例会 講演会 「組織としての在り方~ひとつなぎ~」 ·OB現役交流会

・理事長セクレタリーとして

https://www.facebook.com/toyookajo

HP http://www.toyooka-jc.or.jp

4月12日(金)

ディスカッションの様子

# 4月第1例会

総務委員会

 $18:30 \sim 21:29$ 



No.656







本例会内では総務委員会ホストのもと、講演会としてアチーブメント株式会社の重富雅晴氏を講師としてお招きし、 「組織としての在り方~ひとつなぎ~」を開催させていただきました。在籍3年未満の会員の割合が多い現状で、ようやく 慣れてきたであろうこのタイミングで今一度組織というものを見直し、目的達成のため一丸となれるよう現状を再確認 し、全員がベクトルをあわせて邁進していくため事業構築を行いました。

当日は講演だけでなくグループに分かれた議論を織り交ぜながら進行することで、限られた時間の中でより密度の高 い学びの時間を共有することが出来ました。講演では願望を行動に変え、一貫性をもって行い続けることへの重要性やそ のための考え方をはじめ、行動のメカニズムや習慣についてなど日々の活動の根幹に関わる内容などをお話しいただき ました。この例会で学び得たことはLOMでの活動のみならず、社業においても同様に活かすことができるノウハウであ り、業種や組織は違えど目標を持って活動する限りは共通して使うことのできるスキルを学ぶ大変有意義な時間となり ました。本例会がLOMメンバー皆様にとって、組織やリーダーシップについて再認識し、今後のIC活動をより充実したも のにできる一つのきっかけになっていることを願います。

(総務委員会副委員長 岡村 直昭)

2